

一中ボランティア部が模擬店を出店

松ヶ丘の夏祭り・・・学校との連携委員会が協力



学校との連携委員会は、8月6日（土）開催の松ヶ丘納涼夏祭りでは、牛久一中ボランティア部が焼きトウモロコシの模擬店を出店するのに協力しました。

参加者は一中ボランティア部から10名（うち2人はボランティア部の顧問の先生）、学校との連携委員会から3名。



松ヶ丘納涼夏祭りの様子

午後2時50分には会場の柏田第4街区児童公園に集合し、3時から作業開始。午後8時の閉店までに185本のトウモロコシを焼きました。

すべて当日の朝収穫したものを午前中のうちに茹で上げ、会場で焼き色をつけて醤油を塗ったトウモロコシは、本来の甘みが全く失われず、味については非常に好評でした。



焼きトウモロコシいっぱい売れたよ



8月1日に皮を剥き、茹で、焼き、醤油を塗り、試食するところまでしっかり練習したので、本番では火傷や熱中症などの混乱もなく、作業は順調に進みました。

松ヶ丘の夏祭りでは毎年、一中松ヶ丘少年団が模擬店を3つ出店します。今年はそこに、一中ボランティア部の模擬店も加わりました。その前評判もあって、祭りの来場者や踊りの輪に中学生と思われる姿が例年より目立ちました。

松ヶ丘の夏祭りは区民が自分たちの良いつながりを確認する、年に1度の夏の夜の野外パーティーです。一中生はそこで非常に大切な役割を果たしてくれています。

一中ボランティア部は地域との連携を視野に入れた新しく生まれた部活動です。たくましく成長していくことを願っています。

